

【母校・同窓会本部便り】

○令和元年度 卒業式 異例の開催 R 2.3.2

第12回卒業式は新型コロナウイルス感染が危惧される中、卒業生と職員だけの式とした。106名が巣立った。進路は国公立大8名、私立大47名、短大・大学校など8名、専門学校43名、就職10名。



○令和2年度入学式開催 R 2.4.7

第15回の入学生は95名(普通科:62、総合学科:33)昨年より普通科を1クラス減として募集。普通科2クラス80名、総合学科40名で募集。昨年の入学者85名よりは多いものの定員割れの現実。



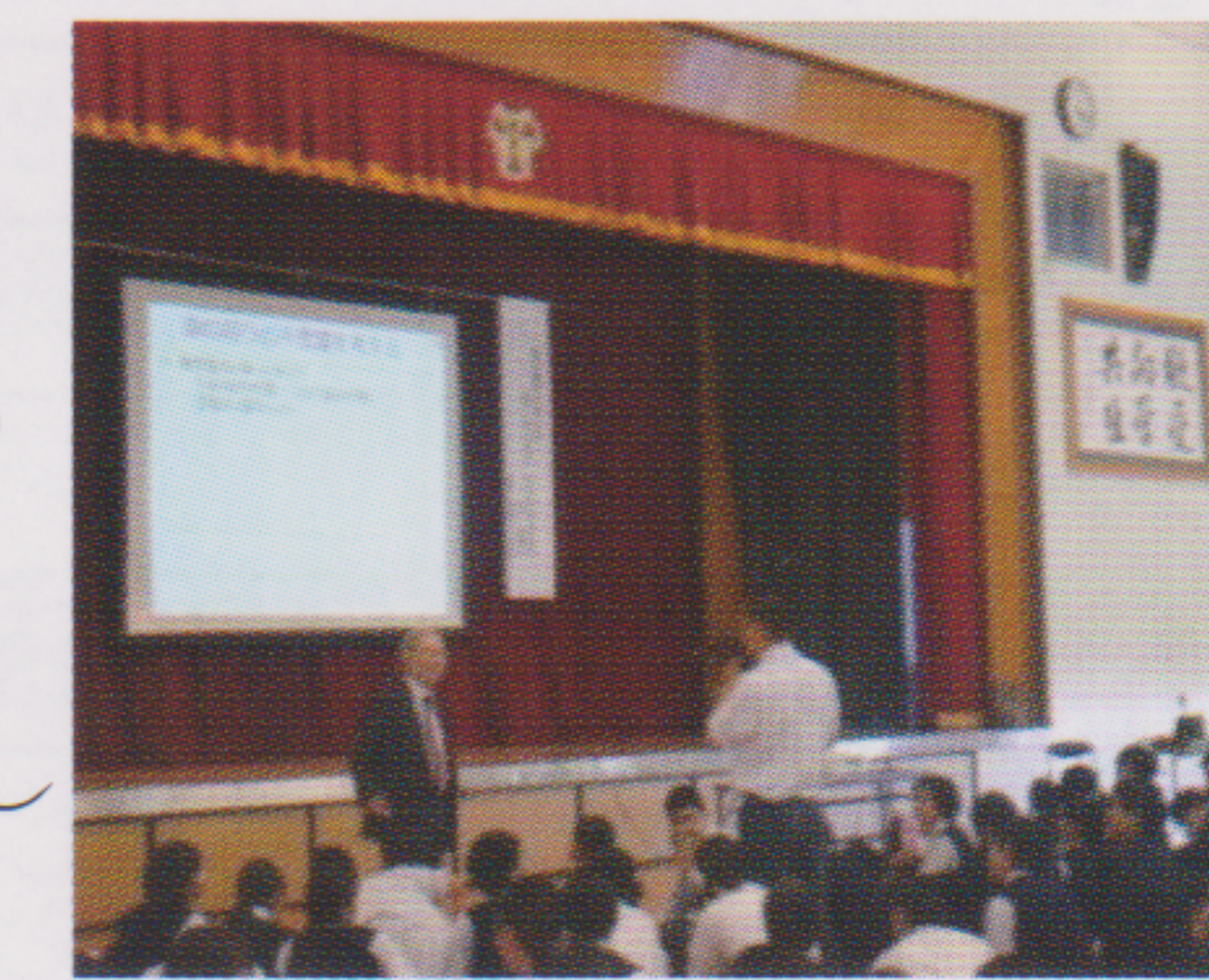
○全国高校空手道大会出場権獲得 R 1.11.17

空手道部は第39回九州高校新人大会に県代表として出場した。男子団体形で第5位、女子団体形で第3位。石川県で3月に開かれる全国大会の出場権を獲得した。(コロナで中止)女子は32年連続全国出場快挙。



○東京工業大学 里達雄名誉教授講演 R 1.12.17

里達雄(第18回卒)名誉教授を招き「島の魅力と学ぶ力」と題して講演がなされた。学びの取り組みや継続する力、見る・伝える・感じる力を養って欲しいとメッセージされた。



○GCFによる徳高支援 今年も目標額達成!

徳之島町は徳高の教育支援にGCFを活用した「島ぬ宝ふるさと納税」を設け目標額超えの106万余円を達成した。徳高生が栽培の馬鈴薯と豚みそ缶詰を返礼した。講師招聘や動画教材に活用予定。



○徳高美術部東京オリパラ壁画制作 R 2.3.10

ホストタウン交流で活動中の徳之島町から依頼を受けSDGsをテーマに作品[想いよ、届け]を描いたもの。



○結心会令和元年総会終える R 1.8.31

結心会は徳之島町JA会館で約50名の会員の参加にて賑やかに開催。明瞭な会計報告をしつつ創立20周年積立も開始。



闘牛サインで総会を祝する結心会員

【会員便り】 同期会などの会員便り投稿お待ちしております

○昭和42年卒 叙勲祝賀同窓会 R 1.12.9

畑山育男(第17回卒)さんが瑞宝双光章を拝受のため上京した折に、同級生有志13名は高田屋新宿東口店で受章祝賀会を開いた。警視庁に入庁、渋谷警察署長等を歴任し平成20年に退職。現在、島に居を移して「下久志はつらつ会」の会長として活躍中。



○商業科第1期生 全国同窓会 R 2.3.1~3

昭和41年に徳高に商業科が設立された。第1期生は絆が強く頻繁に同窓会を開催している。コロナの緊急事態宣言前に早々と実行して熊本、宮崎、鹿児島の旅を満喫。



商業科第1期生全国同窓会 令和2年3月1日 於鹿児島国際ホテル

○東天城中第6回卒 全国同窓会 R 2.1.22~23

東天城中学校卒業の第6 東中会は古稀を迎え、南九州の地でお互いの健康と長寿の祝杯を交そうと全国同窓会を開催した。全国各地から42名が鹿児島空港に集い霧島~宮崎の観光を堪能。

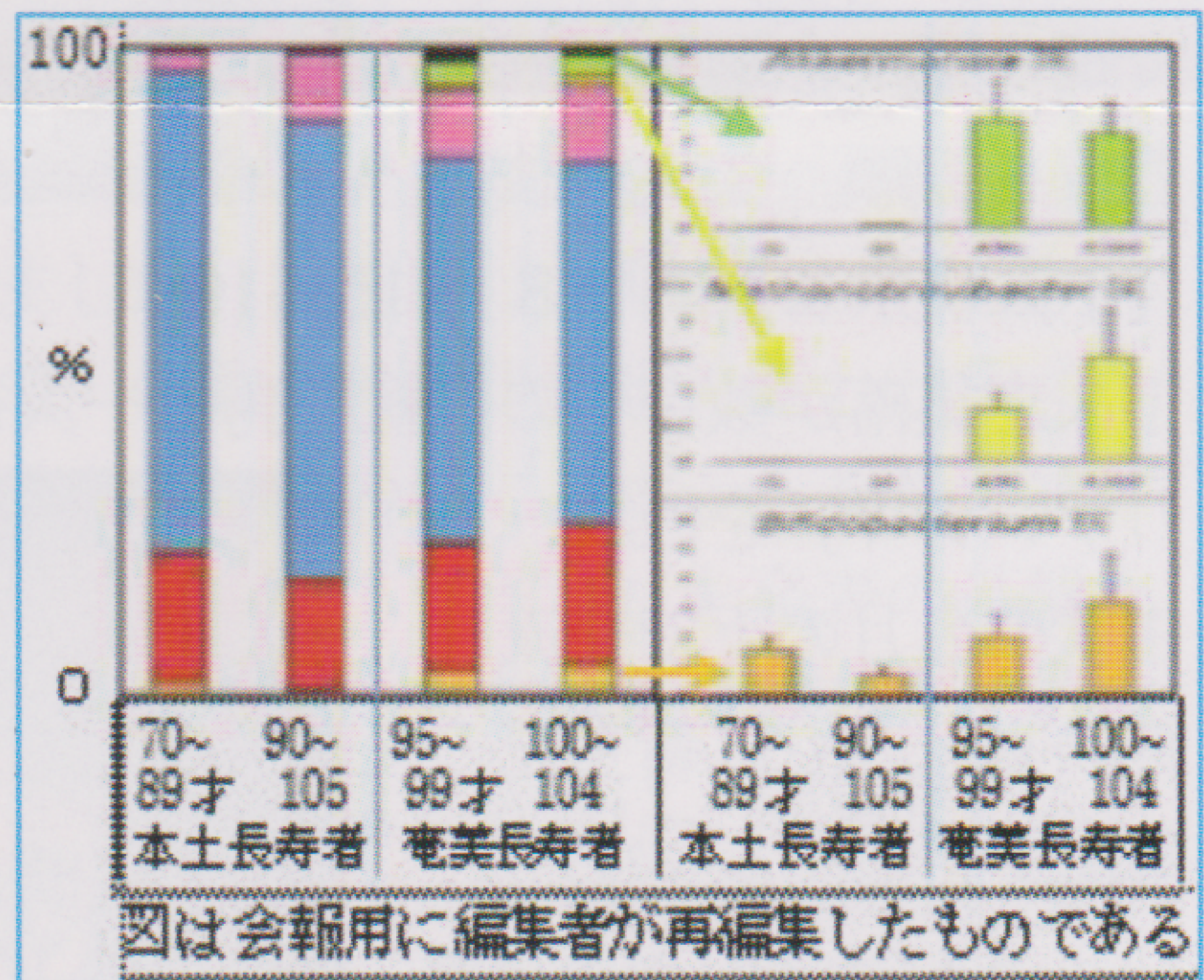


○奄美長寿者の特徴を臨床研究から発表 R 1.9.11

徳之島・徳洲会病院の藤田安彦院長は奄美長寿者の腸内細菌叢(そう)と健康状態の関係に特徴があると共同臨床研究成果を発表した。本土長寿者に比しA属、M属、B属の占有率が



高く、且つ多様性を示すデータである。要因として奄美の食文化を指摘している。今後の研究成果が待たれる。健康を害すると低下するらしい。島の食文化に感謝院長は平土野出身甲南高~島根大卒



図は会報用に編集者が再編集したものである

○関東徳高会創生期の先人のご冥福を祈ります

令和元年は当会創立50周年の節目の年でしたが会の発展にご尽力された先人の訃報に接しました。ここに報告してご冥福をお祈り申し上げます。



林 正次郎様 牧山 二郎様 豊 正行様
緑友会初代会長 徳高会第2代 第13代会長